

# 医療連携だより

第42号 令和3年(2021年)5月

発行  
越谷市立病院  
医療連携室  
越谷市東越谷 10-32  
電話 048-965-2221  
(内線 3114、3135)  
FAX 048-965-5222

## 脳神経外科部長就任にあたって



越谷市立病院  
脳神経外科部長

さいとう りきそう  
齋藤 力三

この度4月1日付で脳神経外科部長を拝命いたしました。越谷市立病院に赴任してから10年が過ぎ、埼玉県東部地区の脳卒中ケアユニット(SCU)を持つ脳卒中拠点病院として、今後も地域のクリニックや病院との連携を密に図っていきたいと思います。脳梗塞治療における2つの重要な治療である、①t-PA療法と②血栓回収療法について紹介したいと思います。

### ① t-PA療法

t-PAは、脳血管に詰まった血栓を溶かしてしまう薬で、詰まった血管を短時間のうちに再開通することで脳梗塞から救うことができる効果の高い治療法です。2005年発売当初は「発症3時間以内に治療を開始すること」が大前提でしたが、2012年9月「発症4.5時間以内」まで使用可能となりました。しかし診療や画像診断、血液検査などに要する時間を考えると、遅くとも発症3.5時間以内に病院を受診しなければ間に合いません。その他にも既往歴、血液検査などの条件を満たす必要があります。このように患者様すべてがt-PA療法を受けられるわけではなく、治療を行っても血栓が溶けずに脳梗塞になってしまう患者様もおられます。しかし、従来の治療法に比べて後遺症が軽く済んだり、後遺症なく退院できる患者様は確実に増えているのは事実です。2020年度では、当院入院となった脳梗塞患者様288人中、31例にt-PA療法を施行しております。そして、3割程度が後遺症なく退院できております。

### ② 脳血管内治療(血栓回収療法)

t-PA投与では一般的に再開通率が低いこと(約30-40%)や、現在の使用可能な時間が4.5時間と比較的短いことが問題であり、その適応患者様も限られています。そこでt-PA療法によって症状の改善が認められない場合やt-PA療法の適応外で、麻痺や言語障害などの脳卒中症状を発症して8時間以内で、脳の主幹動脈(太い動脈)が詰まったことによる脳梗塞と診断された患者様に対し、カテーテルを用いた脳血管内治療が行われるようになり、血栓回収デバイスによる血栓回収療法が着目され治療を受けられる患者様も年々増加しております。また、治療で使われるカテーテルがここ最近目覚ましく発展しており、再開通率が向上しております。足の付け根や肘にある太い動脈にカテーテルを入れて、レントゲンで確認しながら首や脳の詰まっている血管に移動させ、治療を行います。原則的には脳梗塞を起こしてから8時間以内の患者様に行うことができますが、脳梗塞の範囲や側副血行の程度によっては24時間以内であれば行うことがあります。治療で使われるカテーテルにはいくつかのタイプがあります。一つは“ステント”と呼ばれる金網を用いる方法、もう一つは“吸引カテーテル”と呼ばれる、文字通り血栓を吸引して除去する方法があります。国内で認可され、使用可能な吸引型のPenumbra system、ステント型血栓回収デバイスであるSolitaire FRとTrevor Provueの使用による治療成績は、詰まった血管が再開通する確率が約80%、治療後に自身の身の回りのことを自分でできるようになる確率は約50-60%とされています。当院でもt-PA療法のみならず、該当する患者様に対しては積極的にカテーテルによる急性期脳血管内治療を行っております。



いずれの治療も可能な限り早期に行うことが重要ですので、しゃべりにくい、手足の動きがおかしいなどの症状があれば様子を見ずに速やかに受診くださるようお願い致します。

# 令和3年4月着任の各科常勤医師をご紹介します

## 【脳神経外科】

副科部長 工藤 けんたろう  
健太郎



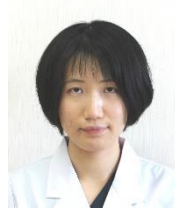
## 【内科】

医師 わせだ なおこ  
早稲田 直子



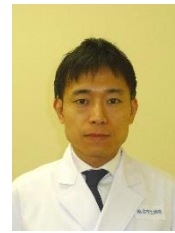
## 【呼吸器科】

医師 かつ こうしん  
葛 航農



## 【消化器科】

医師 ただ まさひろ  
多田 昌弘



## 【消化器科】

医師 さくま さとし  
佐久間 聖



## 【小児科】

医師 みやざき もえか  
宮崎 萌香

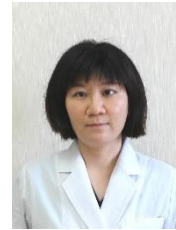


医師 わかもり ゆき音  
若盛 ゆき音



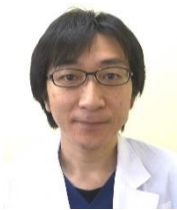
## 【外科】

医師 とあけ みゆき  
十朱 美幸



## 【整形外科】

医師 ねぎし よしひこ  
根岸 義文



## 【婦人科】

医師 たむら なみ  
田村 奈見



医師 せがわ まさふみ  
瀬川 将史



## 【耳鼻咽喉科】

医師 はら さとし  
原 聡



## 「地域医療連携システム（Web 予約）」をご利用ください

当院の病診連携予約は、従来のFAXでのやりとりに加え、インターネットによる予約取得システム「地域医療連携システム(Web 予約)かもねぎネット」を運用しております。各診療科の予約空き状況をリアルタイムで確認でき、簡単な入力作業でご希望の予約枠を取得することができます。ぜひご利用ください。(お問合せ:医療連携室 048-965-2221(内:3114))

< 令和3年1月～3月の連携の状況 > ( )内は前年同月比

	1月	2月	3月
紹介患者数	749件(-179件)	751件(-64件)	878件(+46件)
FAX + Web 予約	129件(-44件)	125件(-36件)	132件(-7件)
うちWeb 予約	38件(+10件)	22件(-14件)	25件(-4件)
紹介率	66.1%(+7.0P)	60.6%(+3.9P)	57.2%(-4.2P)